

第67回 入学式

やわらかな春風がそよぐ花曇りの四月七日、新しい生活に希望を馳せ凛々しい表情をした新入生・三一七名を迎え、第六十七回山村国際高等学校入学式が厳かに挙行された。

入学許可では、明るくしつかりとした新入生の返事が響いた。新入生に対して、校長先生からは、「太い生徒になること、学びの調和をはかること、あいさつをすること」の3つの心掛けが話された。次に理事長先生からは、「夢を実現してほしい、挑戦する強い心を持ってほしい」と激励の言葉をいただいた。そして後援会会長から「山村国際の生徒として頑張ってください、ここで出会った友人や先生を大事にしてほしい」と、むらさき会会長から「夢や希望に満たした今の心情を大切にしてほしい」と新入生の今後を期待する祝辞をいただいた。新入生代表の「自分の意志で行動し、未来を切り開きたい」との誓いの言葉をもって、式は閉幕した。

新入生には山村国際高等学校の生徒としての心構えを持ち、夢や希望に向かって「個性」を磨き、今後とも活躍してもらいたい。



紫藤通信

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamura-kokusai.ed.jp>

新入生へのメッセージ

校長 山田 良秋

1年生の皆さんが本校に入學して4ヶ月あまりが経ちました。今後の皆さんに期待することを記します。高校生の本分は、まず勉強をすることです。学校での集中した勉強に加え、家庭学習は、「学年+1時間」です。定期考査は、2週間前からの準備を勧めます。高校の成績が良いと進路の選択肢も広がります。あわせて、部活動にも励んで下さい。部活動は、高校時代しかできません。本校生徒は引退が早すぎる感があります。3年生の最後までやり遂げて下さい。高校時代の脳や身体への蓄積は、皆さんにとっての将来の宝となります。また、山村国際高校で出会った仲間を大切にして下さい。その仲間と、良い意味で競い合ってください。

結びに、勉強や部活動の成果には「忍耐力」と「集中力」が鍵を握ることを付け加えます。皆さんの今後の頑張りには期待しております。

蝋螂

「枕草子」の「二月つごもりごろ」には、

左兵衛督の藤原実成が中将だった時、とあるので、九九八年(長徳四年)の話である。その年清少納言は三三歳、主人の中宮定子は二二歳であった。三年前の九九五年に中宮の父、道隆は亡くなっており、兄、伊周は九州に飛ばされていた。その後定子も一〇〇〇年に出産時に亡くなり、清少納言は宮仕えを辞している。実成が左兵衛督であったのは九年後の一〇〇九年、この頃は道隆の弟、道長の全盛期で、その娘、中宮彰子に仕えた紫式部(定説によると清少納言の四歳以上年下)が『源氏物語』で一世を風靡していた。すでに過去の人となっていたであろう清少納言が在職中から執筆していた『枕草子』が完成したのはこの頃である。かつての主人の家の衰退した様子は一切筆に乗せず、自身も凋落の身に関わらず、主人の栄えた頃の事だけを記した心遣いの人、と、二百年後の『無名草子』の作者は述べている。しかし清少納言の心中には、当然、反抗心や反発心はあったであろう。清少納言、まもなく没後千年を迎える。

新任紹介

はじめまして

一年一・二組 副担任

舟山 侑佑

本年度より山村国際高等学校でお世話になります。舟山侑佑と申します。担当教科は理科で、一年生の地学基礎と、二、三年生の物理を担当しています。大学では核融合科学の研究をしていました。と、なんだか難しそうだなあと、理科と聞くだけで拒絶反応を示してしまう人もいるかもしれません。私自身、教員になってから理科の面白さに気づきませんでした。私は、学ぶことは苦痛ではなく楽しくあるべきものだと思います。一番苦手な人や嫌いな人が多い理科(特に物理)という科目を、一番楽しい科目にしたいというのがモットーです。高校生活も同じように、無気力だったりつまらなかったりと、ネガティブ思考の人もあるかもしれま

せんが、ポジティブに楽しく、メリハリもつけて日々を過ごせて行けたらいいなと思います。よろしくお願ひします。

はじめまして

一年三・四組 副担任

百合野 晴香

はじめまして。今年度から山村国際高等学校でお世話になります。百合野晴香と申します。1年生3クラスの家庭基礎と2・3年生のライフデザインコース(保育・服飾)、3年生1クラスのフードデザインの授業を担当させて頂いております。大学は目黒にある服飾大学に通っていましたが美術館に行ったり、ミュージカルを観たり、合唱をやっていたので歌うことが大好きです。家庭科は生活していくうえで、必要不可欠です。少しでも身近に楽しく感じてもらえているよう日々精進していきます。最後になりますが高校3年間はあつという間です。勉強はもちろん、部活や友人と過ごす日々を大切にして下さい。

まだまだ未熟ですが皆さんと一緒に成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

はじめまして

一年一・二組 副担任

中村 仁之

英語科の教員として今年度お世話になる中村仁之と申します。新任とはいえ、20代や3代の若い先生方と比べると、フレッシュさはないかもしれませんが、年齢が教えてくれた事でもあります。私の体験など限られたものですが、学校や生徒の皆さんに少しでも役に立てるよう、考えながら全力を尽くします。約3か月で分かったようなことを言うのは早すぎると思ひますが、山国はとても人間味のある温かい校風であるように感じました。生徒たちも明るく元氣を感じます。一体何が起ころのか、一年間とても楽しみです。どうかよろしくお願ひします。

はじめまして

二年三・四組 副担任

村上 雄紀

今年度から山村国際高校でお世話になります。2年3組・4組の副担任をさせて頂いていただいている村上雄紀と申します。教科は国語で、現代文を担当させて頂いていただいています。部活はフットサル部を担当させて頂いていただくことになりました。昨年度は中学校で働いており、今年から高校で働くことになりました。出身は北海道で、大学進学を機に埼玉県にやってきました。大学では大学院修士を含めて6年間漢文を学んでおり、三国志について研究していました。教職員として働くのは2年目ですので、まだまだ経験不足なところも多々あると思ひますが、精一杯職務に専念したいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

Nice to meet you!

二年七・八組 副担任

ホドソン ジョン

こんにちは！私の名前はジョンです。イギリス人です。日

本に六年前に来ました。最初は秋田に住んで、次に、仙台に住みました。趣味はサッカーと映画と読書と走ることです。今年十キロを走りたいです。旅行も大好きです。二十カ国に行ったことがあります。英語のおかげで、色々な国を楽しめました。友達もできました。みなさんも、英語を使ってそのチャンスを作ってほしいです。頑張りましょう！

どうぞよろしく

担当教科 地歴・公民

山口 秀雄

はじめまして。一年一〜六組の世界史Aと、二年一組の世界史Bを担当しています。本校の目標のひとつ、「広い視野」をもてるような授業を心がけています。折に触れ、世界の様子を紹介していきたいと思ひます。どうぞ気軽に声をかけてください。

初めまして

担当教科 数学

山崎 大治

今年度よりお世話になります。

す山崎と申します。実はこの学校との最初の出逢いはあの3・11の時でその瞬間から「何か不思議な力で結ばれているかのような」そんな因縁のよ

うなものを感じておりました。何故かと言いますとこの川越・坂戸という地域が私の故郷でもある長崎県の島原市や南高地区の風景とよく似ていたことなど理由の一つだった

からです。もしかしたらそれは自分の心の風景をたどっているのかも知れません。そしてその六年後である今現在皆様とこうしてご縁が出来ましたことを嬉しく思いますのでよろしくお願いいたします。

はじめまして

担当教科 家庭

小林 葉子

初めまして！2年1組・5組の家庭科を担当いたします小林葉子です。

勤務日は月曜日です。他に中学校2校に勤務しております。高校は初めてなので、まだまだ緊張しておりますが、毎日楽しく学校生活を送っている皆さんに会うと元氣とパワーを

もらえます。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味はフラワーアレンジメントや手芸です。音楽は何でも好きですが、ゆずやミスチル、バックナンバー等を良く聴きます。猫派か犬派かといったら、断然猫派です。今は猫を2匹飼っています。犬は幼い頃に、お尻をかまれて以来、恐怖症です。でもいつか克服して豆柴を飼えたらいいなって思っています。どうしたら犬を好きになれるか？犬好きの皆さん、教えて下さい。

初めまして

担当教科 数学

本田 ティファニー

四月より、英語を教えることになりました本田と申します。今年度は主に1年生と3年生を担当しております。英語や日本語のネイティブではない私ですが、真面目で明るい生徒の皆さんからいつも元氣をもらい、たくさん助けて頂いております。高校の英語は専門用語が続出して、正直私も苦手でした。しかし、言語は頭の良さを問わず、「心掛け

して、英語を使おう」そして「根氣よく続こう」、練習した分は必ず上達します。生徒の皆さんには是非「Just Do It」を意識して、英語と一緒に頑張りましょう。まだ分からない事も多々ありますが、先生方、生徒の皆さん、どうぞ宜しくお願いいたします。

はじめまして

担当教科 家庭

内山 裕美子

はじめまして。四月から家庭科を担当させて頂いております。内山裕美子と申します。久しぶりにまた山村国際高等学校でお世話になることになりました。私は、大学の卒論と大学院で、そして今もお茶の味について研究をしています。この研究を教育にも生かし、生徒の皆さんの印象に少しでも残るような、ワクワク、ドキドキの授業ができるように心がけていきたいですね。今しなかいこの高校生活を、皆と一緒に楽しく、そして粹に勉強をしていきたいと思っております。「終わり良ければ全て良し」こんな言葉通りに皆が卒業する時を楽しみにしています。今は笑って泣いて、ケンカして励ましあって良い友達関係をたくさん作りましょう。

私は「人生どう生きても一回を心の糧にしています。こうしていても時は流れていきます。一生懸命頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

初めまして

担当教科 家庭

金子 桃子

今年度より山村国際高等学校でお世話になっております。家庭科の金子桃子です。生徒の皆さんの日々の生活と家庭科を結びつけて、興味や関心の湧くような授業をすることが本年度の目標です。学校で学んだことが生活で活かされ、よりよい高校生活を送ることができたら幸いです。教員としては、まだまだ未熟者ですが、生徒の皆さんとともに成長していきたいと思っております。先生方、生徒の皆さんよろしくお願いいたします。

はじめまして。

担当教科 国語

住田 慎治

今年度より山村国際高校でお世話になっております、国語科の住田慎治と申します。今年度は一年生の国語総合、三年生の現代文・古典とサッカー部のコーチを担当いたします。さて、皆さんが今、何気なく過ごしている高校三年間という時間は、あっという間に過ぎていきます。たった三年と思う人もいるのではないのでしょうか。しかし、高校三年間というのは、これから先、何十年も続く人生の大切な準備段階だと私は考えています。卒業し社会に出たときに「あの時もっとやっていたらよかった」と後悔しないためにも、生徒の皆さんには、今出来ることに一生懸命取り組んでもらいたいと思っています。皆さんが高校三年間を通して大きく成長していけるよう私自身、日々精進していく所存です。よろしく申し上げます。

新 入 生 研 修



四月十三日から十五日まで二泊三日の行程で長野県白樺湖の「八子ヶ峰ホテル」にて新入生研修が行われた。天候にも恵まれ、十三日は予定通り若葉駅前を出発した。今年度の進路目標にある「職業を理解する」に合わせて、総合学習を取り入れての研修内容となった。

初日は開校式に続き、団長の教頭先生からはこれから始まる山村国際高校での学校生活の指針となる講話があり、研修が本格的に始まった。教頭先生に続き、学年主任からは、先を読んで行動することによってやがて訪れる未来を確実に自分のものにしよという話があり、その後は「総合学習」を実施した。テキストの導入部分であるオリエンテーションの動画をみて、企業理解度チェックテスト、仕事意識チェックを実施した。テストの問題はさまざまで、その回答から職業名を書き出すなど友人と話し合いをしながら進めた。夕食後はクラスごとでLHRを実施。担任からは学校生活のルール、成績、進路

などの話があり、真剣に聞き入っていた。

二日目、午前中はクラスごとにLHRを実施。昼からは飯盒炊爨。昼食がかかっていることでどの班も真剣に取り組んでいた。慣れない手つきで包丁を握り、野菜を切り、めつたに体験しない火おこしから始めて飯盒でご飯を炊き、美味しそうにカレーを食べる姿はほほえましかった。そして食べたあとは落ちにくい鍋の油や飯盒のご飯を冷たい水で懸命に洗う様子やテーブルをきちんと片付ける姿が見られ、しっかりと新入生が入ってきたという印象を受けた。午後はクラス対抗の「校歌コンテスト」を行った。どのクラスもよく練習しており、審査の点数は僅差であった。一位八組、二位七組、三位一組という結果であった。全校集会でもこのコンテストのように大きな声で歌ってもらいたい。夜のLHRでは「三年後の自分へ」の手紙を書いたり、研修のまとめを行った。

三日目、午前中は「総合学習」。実際に仕事をしている方

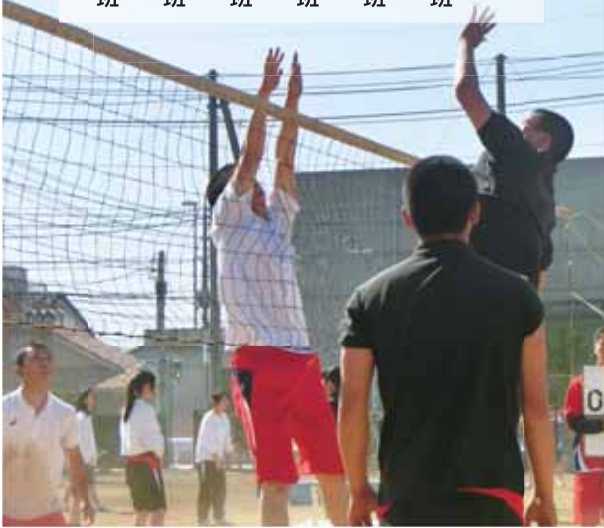


からの話を聞くことで職業への理解をさらに深めることができた。八子ヶ峰ホテルの社長、京王観光の添乗員、メディア出版のカメラマン、看護師、教員は代表して鍋倉先生にお話をいただいた。現場の方から直接話を聞くことで、職業に対する意識がより高まったように感じた。その後開校式を行い、帰りは高島城を見学、チーズ工房ではほうとう鍋を食し、無事に若葉駅到着した。これからの高校生活が有意義なものになることを願う。

球技大会

5月2日(火)晴天の中、球技大会が行われました。気温とともに、各コートでも熱い戦いが繰り広げられ、高度な技術が発揮されるなど例年になく激戦となりました。決勝戦では応援にも力が入り、接戦する盛り上がりのある試合となりました。閉会式は後日全校集会で行い、結果は次のようになります。

- 各コート優勝
- Aコート 2年5組A班
 - Cコート 1年2組B班
 - Dコート 3年5組D班
 - Eコート 3年2組C班
 - Fコート 2年4組A班
 - Gコート 3年3組A班



体育祭



6月2日(金)体育祭日和の中、第62回体育祭が戸宮グラウンドで行われました。

開会式では、体育祭実行委員長 3年3組森田拓真君の力強い選手宣誓により、各生徒のやる気もみなぎり、白熱した勝負を予想させるものでした。どの種目も各クラス今まで練習してきた成果を十二分に発揮し、学年関係なく熱い戦いを繰り上げ、盛り上がりを見せてくれました。また、恒例の3年生のダンスでは「TWICE・BIGBANG・星野源」の曲に合わせて、女子は可愛く、男子はカッコ良い素晴らしい演技を披露してくれました。

午後は突風により来賓競技の中止や砂埃でコンディションが悪い中、大縄・タッチダウン・クラス対抗リレーなど泥だらけになりな

がらも選手は、一生懸命最後まで諦めずに戦う姿を見せてくれました。

体育祭開催にあたり、先生方、体育委員、多くの方々々に御協力いただいたことに感謝しています。また平日にもかかわらず多くの保護者の方々に足を運んでいただき、ありがとうございました。後日行われた閉会式の結果は次の通りです。

男子優勝 3年3組
女子優勝 3年7組

来年も素晴らしい体育祭になるように頑張ります。



部活動 活動報告

文化部

■バントワーリング部

バントワーリング部は、地域のイベント出場や大会出場等、積極的に活動しています。

8月には広島で行われた全国高等学校総合文化祭に出場しました。

パレード部門では、グッドパレード賞をマーチング&バントワーリング部門では実行委員会特別賞をいただきました。9月、10月の埼玉県大会、関東大会を経て、12月に行われた第44回バントワーリング全国大会に出場し金賞をいただきました。各大会に出場し多数入賞を果たしています。

■映画研究部

映画研究部では、これまで部員の生徒たちによる自主映画の制作を行ってきました。しかし現在は部員が少なく(2年生2人、1年生1人)、映画作りが中々できない状況で、活動日には視聴覚室で映画の鑑賞を行っているのが現状です。鑑賞も楽しいですが、部員が増えて、また映画制作ができるようになればいいと考えています。

■軽音部

バンドごとに平日は2バンド、土曜は5バンドが活躍しています。1

学年は全員初心者のため基礎を中心に練習、2、3学年は、文化祭出場、オープンキャンパスなどの演技に向けての練習を主にしています。2か月ごとに部内発表を行い、技術向上を図っています。また、大会にて県予選会通過を目指して日々、活動しています。

■華道部

華道部は小原流師範の菅原先生のご指導の下で、週1回水曜日に活動しています。花型の勉強が中心となります。また、年に2〜3回、施設からの依頼により、フラワーアレンジメントの講習をしたり、夏には競技会に参加して、普段学んでいることを発表しています。柴藤祭では作品を展示しますので、是非見に来てください。

■茶道部

茶道部は月曜日と金曜日の活動を通し、「お手前」の練習を立礼席を中心に行っています。また仲の良い部員同志の友情を育んだ活動を送っています。文化祭や毎年2月に行われる「坂戸くらし展」で茶席を設けて来場者の方々へ一服おたてしています。日頃のお稽古の発表の場としてお立ち寄り頂ければ幸いです。

■写真部

こんにちは、写真部です。フィル

ム写真からスタートした写真部も、完全デジタル化し、活発な活動を続けています。新入部員も入り、より一層の活動の充実を目指しています。学校行事での撮影はもちろん、いろいろなコンテストにも出品していきますので、写真に興味のある人、ぜひ一緒に活動しませんか。

■書道部

書道部は、週2回の練習を通じて、埼玉県書道芸術展覧会や硬筆展覧会、私学文化祭などに作品を出品しています。古典作品の臨書を通じて、各自の技術面の向上はもちろんのこと、精神面での豊かさも心に留めながら日々和氣凛々と練習に励んでいます。柴藤祭では作品展示を行いますので、ぜひ見に来てください。

■生物部

生物部は抗菌の研究をしている。成果は、高校生バイオサミットやジュニア農芸化学会、また埼玉大学や千葉大学でも発表をしている。この成果発表には、ポスターと論文があり、前者は審査員に前にした発表であり、後者は高校生らしい論文の発表である。生物部は、この両者で「大臣賞」の受賞や「学会誌」への掲載を果たしている。

■調理部

調理部は、今年度新しく一年生が入部し、42人という大きな部活とな

りました。活動としては、お弁当コンテストやお菓子コンクールなどに参加、応募しています。一生懸命考え、楽しみながら、取り組んでいるのでこれからも楽しく、そして身になる部活にしていければと思います。

■イラスト部

名称はイラスト部ですが、イラストはもとより、水彩、油絵、日本画に至るまで幅広く取り組んでいます。部員数はここ数年30名前後。本校文化部では大所帯ではありませんが、先輩後輩の上下関係はなく、和気あいあいとしたムードの中で活動しています。現在は秋に開催される、埼玉県私学文化祭の作品出品のため、各自思い思いに創作活動を行っています。

■被服部

洋裁を中心として作品を作成しています。スカート・ブラウス・ワンピース・ドレス等、学年ごとに製作をしています。三年生で製作するドレスは例年私学文化祭に出店しています。週2回の放課後と夏季休業中の前半を活動にあてています。

■福祉部

福祉部の活動の中心は月に一度、「さかど療護園」という障害者支援

施設への訪問があります。この活動は平成元年3月に本校の小島先生に「在園者に園外へ散歩をさせたいのでボランティアをお願いしたい」といった内容の電話がきっかけだったそうです。それ以来、我が部の重要な活動の一部として訪問させて頂いています。

■放送部

主な活動は、お昼の校内放送や学校行事でのアナウンスなどを担当しています。また、オープンキャンパスでのアナウンスや映像制作(撮影・編集)も行っています。私たちはNHK杯放送コンテストなどの放送コンテスト、そして放送講座などに参加することで日々“人に伝える”大切さを学び、感じ取りながら技術を磨いています。

■英語部

The English Club is working happily and well together to make an English play for the school festival. We are also working hard on a live all-English lunchtime broadcast, as well as planning international cooperation.

■マジック研究部

山村国際高等学校 マジック研究部です、私達は基本火曜日の放課後、調理室や事務室前で主にマジック・ジャグリング・パールの練

運動部

習をしております。

出来るだけ役立つ技術を身につけることを心がけていますが、残念ながら現在の発表の場はオープンキャンパスや紫藤祭のバルーン作成などですので、皆さんの前で特に手品の演技することが少なく、発表する場をひろげることが、これからの私達の課題となっております。もしご兄弟の子供会など発表の場がありましたら、お気軽にお声掛け下さい、よろしくお願致します。(担当…事務室 平井)

吹奏学部

吹奏楽部は、入学式の式典演奏、新入生歓迎会での歓迎演奏を行いました。新入部員を加えての練習は五月からスタート、八日には打楽器ソロコンクールに二名が出場、両者共に入賞となった。六月に研究発表会において、コンクール演奏曲をはじめて演奏、新入部員を迎えての初めての演奏となった。今後、野球応援、夏季合宿コンクールに向けての練習を本格的におこなっていく予定である。

よやんご部

いつもお世話になっております。よさこい部です。今年度は新たに1年生25名を迎え、総勢65名で週5日活動しています。主に埼玉県祭などの行事に参加し、演舞を披露しています。まだまだ未熟ですが、向上

心をもつて日々努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

居合道部

居合道部は、今年で創部三十一年を迎え、一年生八名・二年生五名・三年生一名で活動しています。稽古は週五日、流派は夢想心伝流で、刀法の錬磨と身体の鍛錬とともに、精神の修養を目指しています。また大会や昇段審査に向けて稽古に励んでいます。

剣道部

剣道部は現在、男子11名女子12名で活動しています。夏は福岡県で行われる玉竜旗高校剣道大会、春は秋田県で行われる魁星旗争奪全国高校剣道大会に出場しています。市民大会などでは個人戦で優勝するなど結果を残しています。

その勢いで県大会上位を、そしてインターハイ・関東大会を目指し、部員一丸となり稽古に励んでいます。

陸上競技部

陸上競技部は、男子7名女子9名の計16名で活動しています。5月の学校総合大会では女子800m、1500mで県大会に出場し、1500mでは8位入賞しました。

秋の新人戦大会では男女ともに1人でも多くの選手が県大会出場できるように頑張ります。また、11月1日に行われる埼玉県駅伝では8位入賞を目指し、初の関東大会出場を目標に日々の練習に取り組みしていきます。応援よろしくお願致します。

ソフトテニス部

本年度の男子ソフトテニス部は、一学年6名、二学年12名、三学年6名の計二十四名で活動しています。女子ソフトテニス部は、一学年6名、二学年3名、三学年3名の計十二名で活動しています。団体戦、個人戦ともに、勝利を目指して日々練習に取り組みしています。夏からは頼りになる三年生が抜け、二年生主体となります。これまで以上に切磋琢磨して参ります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

サッカー部

今年度は、インターハイ予選県大会に出場することが出来ませんでした。U18リーグでは1勝3分け、3Wリーグでは2勝とそれぞれ勝ち点を伸ばしており、U16は開幕3連勝でリーグ首位となっています。これからも暑くなり、夏休みは選手権大会の1次予選が始まります。3年連続1次予選を突破出来るように日々練習しています。

バレーボール部

バレーボール部では、この春に卒業した先輩たちが果たした県大会出場をもう一度実現しようと、日々練習に励んでいます。しかしながらその道は険しく、先日の大会でもようやく1勝できたのが現実です。周囲には強豪校も多く今後も苦戦が予選されますが、謙虚に練習を続け、高校生活最高の思い出を作るつもりで頑張ります。

女子バスケットボール部

女子バスケット部は、28年度新人戦において悲願の県大会出場を果たしました。現在新チームとなり、また県大会出場できるよう日々練習に取り組みんでいます。日々の練習の中で辛く苦しいと思うこともありませんが、チームメイト一丸となり一生懸命頑張っていきたいと思えます。

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は六月から新チームとして始動し、現在二年生十人、一年生十人、マネージャー一人の計二十一人で活動しています。

『シード権の獲得』『県大会出場』を目標として、現在のところ基礎的な練習から組織的な練習まで、幅広く行っています。百戦錬磨の大塚コーチ指導のもと、明るく元気に頑張っていますので、応援よろしくお願致します。

ダンス部

ダンス部は学校内の発表、地域のイベント等への出演の他、大会に出場しております。

今年度も新たな部員を迎え、夏に行われる大会に向け日々練習に励んでいます。今年の作品テーマは『魔球』です。ピンクレディーの楽曲を使用し、衣装や小道具にも工夫を凝らしています。8月の関東予選を突破し、全国大会では優勝出来るよう努力を重ねていきます。これからも応援宜しくお願い致します。

硬式野球部

野球部は、現在、三年生二十名、二年生十五名、一年生二十六名で活動しています。

昨秋、今春と県大会に出場したものの、初戦敗退と悔しい思いをしました。その悔しさをバネに三年生は、後輩たちをまとめ、夏の大会へ向けて日々練習しています。二十六名の新入部員の入部により、上級生に刺激を与え、より一層活気ある雰囲気の中で、切磋琢磨しています。

フットサル部

フットサル部は、フットサルを楽しみながら大会で結果を残せるように日々活動しています。高校生リーグにも参加し、レベルアップを図っています。

教育実習を終えて

塩野 楓音

3週間の教育実習を終えて、様々な経験をさせていただくことができました。授業面に關しても生徒指導に対しても初めはわからないことが多くあったが、日々学ぶ姿勢を忘れずに過ごしました。教育実習では、授業見学や実際に授業を行いました。

自分自身が生徒であった時と実習生として授業見学を行うことは大きな違いがありました。生徒の時には、気が付くことができなかった先生方の授業に対する工夫などを学ぶことができました。3週間で人としても大きく成長できたと感じています。今後も学び続けることを忘れずに過ごしていきたいと思います。

高井 麻由

この度、母校である山村国際高等学校において教育実習をさせて頂きました。一日一日がとても早く感じ、明日はどのように授業を進めようかと思案していました。とても良いクラスの生徒たちに

恵まれ、また諸先生方にも多くの助言を頂き無事に三週間の教育実習を終えることができました。生徒の皆さんはしっかりと挨拶ができ、社会に出ても大切にしたいと思えます。また、高校生活では部活でも勉強でも何か一つ最後までやり抜いてください。最後になりますが、貴重な経験をさせて頂きましたことを、深く感謝申し上げます。

山口 彩

3週間お世話になりました。とても貴重な経験をさせて頂きました。

「先生」という立場になって感じたことは、伝えることの難しさです。上手く説明すること、指示を出すことができず、生徒を戸惑わせてしまうこともありましたが、先生方のご指導のもと、自分の声が生徒たちに届くようになり、一生懸命取り組んでいる姿を見た時、達成感とやりがい、楽しさを感じました。先生方をはじめ、生徒たちの元氣と笑顔に支えられたこの3週間は一生の宝です。

実習での経験を今後活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

吉野 真斗

教育実習終えての感想としてはまず3週間という期間があつたという間だったということです。実習中は山村国際高校の卒業生ではないこともあり、校風、生徒の特長などを観ながら、かつ授業の準備に追われる日々を過ごしました。やはり大勢の生徒の前に立ち教師として話をするのに最初は戸惑い、朝のショートホームルームではうまくいかないことが何度もありました。授業においてもただ教科書の内容を読んでいるような話をしてしまい生徒たちにはわかりにくい授業をしてしまいました。ただ3週目に入るところにはそれまで身についた経験から生徒との接し方や授業のコツなどを自分なりに掴むことができました。やはりなに行うにも勉強やそれに伴う準備は必ず必要ですが「経験」というのもとても重要な要素であることを実感しました。とても実のある3週間でした。



事務室だより

事務・平井敦嗣

現在事務室では、六月初めから皆さまに文書・メールにてお伝えしご提出頂いた「高等学校等就学支援金」「埼玉県私立学校 学費軽減補助」「奨学のための給付金」について国及び県に提出し、結果を待っている状態です。

この三点の給付金申請については、一旦は締め切らせて頂いておりますが、書類の出し忘れや家庭状況の変化がありましたら、お気軽にご連絡下さい。個別に対処させて頂きます。

平成二十九年度の補助金申請は平成三十年二月末までに行わないと、補助金が貰えなくなり、こちらでも未提出の方には意思確認として随時お声がけさせて頂きますので、ご協力宜しくお願いします。また、通常の授業料の納入についてご相談がありましたら、同様に個別対処させて頂きますのでご連絡よろしくお願い致します。

連絡先：
山村国際高等学校事務室
049-281-0221

「高等学校等就学支援金」
「埼玉県私立学校 学費軽減補助」
「奨学のための給付金」
については
担当：平井／横川

授業料納入についてのご相談は
担当：石井

まで宜しくお願いいたします。